

夏瀬の森

だより

平成三十年八月二十五日 第八十号
田殿丹生神社 宮司 嶋田博文

夏祭・花火大会

猛暑の中ご奉仕ありがとうございます



夏祭り宵宮奉納花火大会を本年も氏子の皆様方の御奉賛のもと、七月十日に開催させていただきました。毎年の時期は梅雨末期の大雨や台風を心配しながら準備を進めたのですが、今年は直前に台風が襲われたものの、幸いにも大きな被害はなく、また川の水量も落ちないまま、恵みの雨もいただけ、無事に本番を迎えることができました。しかし連日の猛暑は尋常ではなく、打ち上げ場所や駐車場の草刈り、提灯つりや交通警備等に大汗をかくてきた総代様や、前日の境内大掃除に始まり当日の「厄除けちまき」やジュースの販売に明るく大きな声で頑張っておりました。敬神婦人会の方々には大変なご苦労をおかけしました。

おかげさまで、平日にもかかわらず大勢の方々が参りにきてくださり、大変楽しい賑やかな



夏瀬の森となり、お宮を支えてくださる皆様方のために湯浅警察はじめ少年セクターや学校PTA関係の皆さま方にも心から御礼申し上げます。



無事に務めさせていただきます。候や害虫の被害がなく、農業がはじまり、仕事が発展するにつれ、玉串を奉奠し、代々祈願するに格別な夏の始まり本格的な夏が始まりました。

輪越し大被式

心身の穢れがきれいに消えました

七月三十一日の夜、輪越し大被式を行いました。早朝から総代様方が刈り採った大きな茅の輪を作り、正面の大鳥居に設置しました。夜間には提灯が吊られ、境内ではお抹茶と夏のお茶菓子で参拝者をお迎えました。



夜八時から大被式を始め、宮司が大被詞を奏上し、参拝者は各自、切麻（きりぬき）で心身を清めました。次に、氏子の方々からお預かりした薦で包んだ人型（ひとがた）とともに全員で茅の輪を8の字に三度くぐり川に向かいました。そして、総代様の手で人型は有田川に流され、今年も無事に大被式が終了しました。今年も夜のひとときを、夏瀬の森で過ごすべく、草を引き抜いて持ち帰り、小さな輪をたくさん作って、悪疫や穢れが入ってこないように玄閑や勝手口、倉庫や車などに掛けてくれたいです。御参拝ありがとうございました。総代様、敬神婦人会の方々はもちろん、お抹茶の接待をして下さった茶道教室の皆さま方に心より御礼申し上げます。



「一番字」尾中区練習真つ最中

平成最後の今年の秋祭り。三面奉納一番字（責任区）は尾中区です。戸数・人口が減少している中で、つづいて獅子舞を担当するには以前と比べて過大なエネルギーが必要となっており、役員の方々も知恵を絞る必要がなげ、工夫をしながら本番に向けて進んで下さっています。特に今回は週の練習日を少なくする代わりに、早くも六月から練習を始めて下さっています。神社の有田川を挟んだ向かいの堤防。尾中公民館の前の練習場から、夜遅くまで獅子頭が響いています。ツツという高い音が響いています。

今後の三面の奉納・運営について
 今後の三面の奉納・運営方法ですが、昨年より三面検討委員会を四回開催し、また各区でもご検討いただきました。九月十七日に開催予定の「馬寄せ」（祭典委員会）では今年度の秋祭りの運営打ち合わせ後に三面検討委員会からの原案を提出し、区長様、総代様方に今後の方向性を決めていただきます。よろしくお願いたします。



六年目となる子ども達の笛太鼓
 今年も田殿小学校の三年生から六年生まで、あわせて三十五人（八月末現在）の子どもたちが笛と太鼓の奉納に手をあげてくれました。練習は九月三日より田殿小学校にて放課後に行われます。今年も青木茂様（角）勝丸利和様（尾中）岩崎利弘様（尾中）の三名の方がご指導下さいます。年々子どもたちのレベルが上がっています。どうか今年もご期待下さい。



弁天堂様奉納のお餅投げ

本年も秋祭りには大谷の下の宮でお餅投げをいたしました。今年も長田の弁天堂様がお餅とお菓子を御奉納下さいます。心から御礼申し上げます。皆様大いにお楽しみ下さい。



ホームページへもお越し下さい

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~tadononyujinjya/>